



学校だより 7月号

学び合い 認め合い

笑顔輝く 都田西っ子



【TEL 045-933-7652 FAX 045-937-0964】

都田西小学校の子どもたちの安全を守る取組について

校長 三橋 淳子

子どもたちの安全を守ること、このことは全ての保護者の皆様の共通の願いであり、同時に心配の尽きない課題ではないかと思えます。学校の教育活動の中でも、安全の確保と安全教育の推進は大きな柱の一つとなっています。

先日、総合的な学習の時間に交通安全をテーマに学習を進めたいと考えている6年生の子どもたちと話をする機会がありました。子どもたちの視点で課題を把握し、自分たちにできることに取り組んでいきたいとのこと、大変頼もしく、これからの取り組みに校長としても関わらせてもらいたいと伝えました。

折しも本校の「令和5年度スクールゾーン防犯対策協議会」がありましたので、協議会の関係者の皆様にお越し、当該の学級のお子さんも協議会を参観できるようにいたしました。数人ずつ交代での参観となりましたが、子どもたちが感じ、考えたことの一部をご紹介します。

- ・地域の方が色々な思いで交通安全に取り組んでいることがわかり、参加している人はみんな他の人たちのためにやっていて、すごいと思った。そして、対応が難しい場所では、個人個人が注意することが必要だとわかった。
- ・たくさんの方が参加していて、話を聞くことで色々な問題があることに気づいた。子どもも大人も同じで、できることには協力して、各自が努力することが大切だと思った。
- ・スクールゾーン防犯対策協議会に参加して思ったことは、いつも自分たちが普通に過ごしているこのまちも、このような方々のおかげで安心して過ごさせていること、これは当たり前ではないことが、改めてわかった。自分にできることを行動に移したい。
- ・会議に参加している人みんなが本気でやっていると伝わってきて、私も本気でやろうと思った。
- ・自分は危険な場所について対策をとると考えていたが、危険な場所の手前から様々な状況を予想して話し合いをしていて、大人の人たちは本気で取り組んでいると思った。自分にできることに取り組みたいと考えているが、子どもだけでなく、交通安全のプロや詳しい人の協力も必要だと思った。

通常のスクールゾーン防犯対策協議会では、学区内の危険箇所を中心に対処を協議いたしますが、今年度はそれに加えて、次のようなご提案、情報共有も行われました。

◇校外委員会から移行した「ばと隊」の皆様から、これまでの経緯のご説明とRESERVA旗振りシステムについてのご紹介と現状、今後の見通しをご説明いただきました。

◇横浜市では令和5年度より「子どもの通学路交通安全対策事業」としてビッグデータを活用した交通安全対策プロジェクトを展開していますが、都田西小学校も交通安全推進校(市内4小学校)の指定を受けています。横浜市道路局施設課からは歩道整備や路面標示等ハード面の対策の提案、道路局交通安全自転車政策課からは交通安全教室の実施等ソフト面の対策のご提案をいただきました。

学校では、年間を通して交通安全推進校としての取組を進めていきますが、旗振り活動の新しい形を始めとする校内外の取組について、関係の皆様とご相談しながら、持続可能で実効性のある形となるように整えていきたいと考えています。

保護者の皆様におかれましても、各ご家庭、それぞれにご事情があると推察いたしますが、子どもたちの交通安全への行動として、例えば旗振りの登録を、例えば交通安全教室の手伝いをするように、できるときにできる形でお力を貸していただきますよう、よろしくお願い申し上げます。